



「体操の隊形に開け」

新型コロナウイルス感染拡大防止によって中断されていた運動会が再スタートしました。少しずつコロナ前の運動会の熱気が戻ってきました。再開された運動会は実施内容が少し変わったところもありますが、代々の卒業生が作り上げてきた城山中学校の運動会の魂は失ってはいけないと思っています。

城山中学校の魂は、「全ての生徒が楽しめる運動会・自分たちの手で作り上げる運動会」ということだと思います。その魂を持って運動会をまとめることが3年生の重大な役割だと思います。応援一つとっても城山中学校の応援の特徴は「相手を称えるエールはしても、相手を非難するようなエールはしない。」というものでした。みんなを思いやる空気がグラウンドを包んでいました。頑張っているライバルのブロックの演技に拍手をしたり、全力で競技したお互いを称えたりする応援が行われてきました。6年前に卒業した黄色学年の3年生は、運動会が終わった後に全校生徒で一つの円陣を作って、「みんな、ありがとう」とエールを交わして終わりました。精一杯に競技してみんなで一つになる、そんな運動会でした。

運動会が再開して2回の運動会が行われましたが、少し気になることがあります。それは開会式の「体操の隊形に開く」の動きがだらしなくなってしまったことです。コロナ前は、「体操の隊形に開け」の合図で全校生徒が全力で走り一瞬に体操の隊形を作っていました。しかし、再開後は、「体操の隊形に開け」の合図で、半ば歩くようなスピードでダラダラと全校生徒が動きまわります。今回の運動会では、開会式の最初の演技でもある「体操の隊形に開け」で先輩たちの積み上げてきた魂を再現して欲しいと思います。よろしくお願いいたします。